



令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


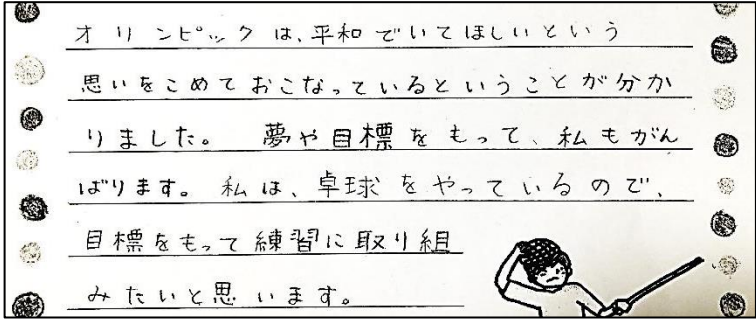
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 宮城県 】

学校名【 涌谷町立月将館小学校 】

1 実践テーマ	①・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・⑤（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	涌谷町立月将館小学校 全校児童 第1学年～第6学年 8学級 145名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間、学級活動 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	○ オリンピック・パラリンピックの意義や歴史を学ぶことで、スポーツに対する興味関心を高める。 ○ 講師の体験談から様々な困難を乗り越え、志を持ち、夢を実現しようと努力する姿勢や、仲間との支え合い、感謝する気持ちの大切さを学び、今後の生活に役立たせる。
5 取組内容	<p>・事前学習 各学年の発達段階に応じた事前学習。 （担任による事前説明、図書室の本やインターネットを使用した調べ学習等）</p> <p>○講演会 ※新型コロナウイルス感染症対策として、体育館に集まる人数を少なくするため、講演会を2回に分けて実施した。 演題：スポーツから学ぶこと 講師：千田 健一 氏（モスクワ五輪フェンシング日本代表）</p> <p>①講話『オリンピックについて』 『スポーツから何を学ぶか』 動画や画像、実物を提示していただきながら、学年に合わせた内容でお話しいただいた。</p>
	 

	<p>②実演『フェンシング』 児童が安全に活動できるように用具を工夫していただき、フェンシングを体験することができた。</p>  <p>• 事後学習 各学年の発達段階に応じた事後学習。 (感想文、お礼の手紙、ソフトボール教室の実施等)</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>オリンピックの講話から、オリンピック・パラリンピックの意義や歴史を学び、オリンピックの理念に触れ、多くのことを学ぶことができた。フェンシング競技の選手として、指導者として第一線で活躍してきた講師の言葉にはとても重みがあり、児童の心に響いていた。児童の感想文や講師へのお礼の手紙には、スポーツの大切さやお話しいただいたことを今後の生活に生かしたいといった内容が書かれていた。オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めるとともに、志や夢、希望を持って努力しようとする態度を育む機会となった。</p> 
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>学区が広く、スクールバスや保護者送迎で通学している児童が多い。体力・運動能力調査の結果からも日常的に運動に親しむ態度の育成が必要である。見たことがないスポーツを目の当たりにし、専門性に触れることで運動への興味関心を高めることへとつなげた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な方々との交流や体験活動などの事業内容を変更せざるを得なかった。講話のみではなく体験的な活動、交流の機会を設定するためには、感染症対策を踏まえた活動内容のより一層の工夫が必要である。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今回の講演会で児童が学んだオリンピック・パラリンピック理念、スポーツの魅力をさらに発展させられるように、感染症対策を講じながら体験活動や交流を展開していきたい。様々な種目を地域の方々や高齢者と一緒に体験しながら交流を深め、インクルーシブな視点を養う。</p>